

江戸川区 中小企業の景況

令和4年7月～令和4年9月期

調査対象 製造業 152社 小売業 70社
サービス業 50社 建設業 55社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株) 総合企画

本概要版は、令和4年9月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和4年10～12月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Index) の略

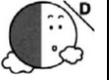
D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
							
	好調 ←		普通		→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

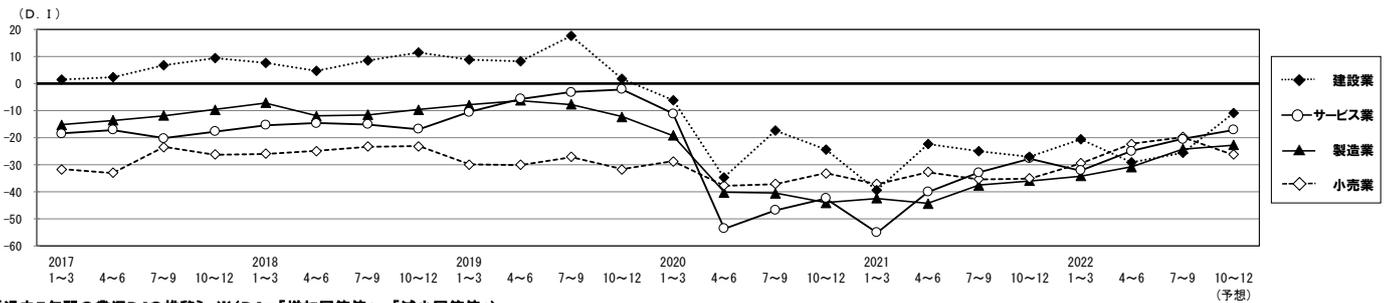
製造業	前期		-30.8	業況DI(Δ30.8→Δ24.2)は悪化傾向が大幅に弱まりました。売上額(Δ22.2→Δ15.1)と収益(Δ24.2→Δ16.8)は減収・減益傾向が大きく改善されました。 来期の業況(Δ22.8)は今期同様の水準が続くと見込んでいます。売上額(Δ15.9)と収益(Δ17.3)も今期並の減少・減益傾向が続くと予想しています。
	今期		-24.2	
	来期		-22.8	

小売業	前期		-22.3	業況DI(Δ22.3→Δ19.8)は悪化傾向が多少改善されました。売上額(Δ10.8→Δ12.4)は前期並の減少幅で推移し、収益(Δ15.8→Δ18.3)は減益傾向がやや強まりました。 来期の業況(Δ26.3)は悪化傾向が大きく強まり、売上額(Δ16.6)と収益(Δ22.0)は減少・減益傾向が幾分強まると予想しています。
	今期		-19.8	
	来期		-26.3	

サービス業	前期		-25.0	業況DI(Δ25.0→Δ20.5)は悪化傾向が多少持ち直しました。売上額(Δ13.1→Δ10.6)は減少傾向がわずかに弱まり、収益(Δ22.8→Δ21.3)は前期並の減益幅で推移しました。 来期の業況(Δ17.1)は悪化傾向が幾分持ち直すと予想しています。売上額(Δ10.0)は今期並の減少傾向が続く、収益(Δ14.3)は減益傾向が大きく改善すると見込んでいます。
	今期		-20.5	
	来期		-17.1	

建設業	前期		-29.0	業況DI(Δ29.0→Δ25.5)は悪化傾向が幾分弱まりました。売上額(Δ26.2→Δ18.8)と収益(Δ36.7→Δ26.3)は減少・減益傾向が大幅に改善しました。 来期の業況(Δ10.9)は悪化傾向が大幅に改善し、売上額(Δ17.7)と収益(Δ27.0)は今期同様の減少・減益幅で推移すると予想しています。
	今期		-25.5	
	来期		-10.9	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



【過去5年間の業況D.I.の推移】※(D.I.＝「増加回答値」－「減少回答値」)

	2017				2018				2019				2020				2021				2022 (予想)			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (予想)
製造業	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-37.6	-36.0	-34.2	-30.8	-24.2	-22.8
小売業	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-35.4	-35.1	-29.5	-22.3	-19.8	-26.3	
サービス業	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-32.9	-27.7	-32.2	-25.0	-20.5	-17.1
建設業	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-24.9	-27.0	-20.6	-29.0	-25.5	-10.9

経営者から寄せられた声 (2022年7～9月)

【景況全般について】

- ・景気動向、業界動向ともに下降傾向。取組として経費節減、営業時間短縮を行っている。(サービス業)
- ・建築に関しては、ステイホームの関係かリフォーム等が堅調。不動産売買に関してもコロナの影響が薄れてきているのか、反応は良い。賃貸についてもコロナ前に戻ってきているように感じる。(建設業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・7月頃から仕事は順調だったが、今月は見積りも少なく以降はどうなる事かと少し不安だ(製造業)
- ・ビルの完成に近づき仕事量がダウンしている。次の現場が見つからず苦慮しており、祭日も多く仕事が減った。支払は有給休暇部分を支払っており、会社として赤字が増加している。何とか従業員の生活を守りたいが、社会保険料、労働保険料がアップしているので赤字も増加している。物価上昇により、ライフライン分も上昇しているため、支払単価は下げられない。(建設業)

【経営上の課題について】

- ・顧客先の電気代上昇や原材料費・燃料費の高騰により、事業継続を検討し、廃業しているところが増えてきている。また、弊社はシステム会社のためあまり関係がないと思っていた電気上昇と円安だが、海外のサーバ(AWS)などを使用する際に、ドル換算のため、影響を受けている。今後に向けて、固定費の見直しを行っていかねばと思っている。(サービス業)
- ・材料の値上げを売価に転嫁しにくい、値上げせざるを得ないことを苦慮している(建設業)

【経営改善等に向けての取組み】

- ・受注は減っているが頑張って頑張っている。材料の高騰により、極力多めに買わずぎりぎり手配している。(製造業)
- ・品物が売れない状況。お客様のニーズに合った仕入れを心がけている。(小売業)

江戸川区の企業倒産動向 (2022年7～9月)

江戸川区の企業倒産動向

2022年7～9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比±0% (増減なし) の8件 (前期8件)、負債総額は前期比60.6%増の16億12百万円 (前期10億4百万円) でした。

業種別にみると、件数では「卸売業」が3件、「情報通信業・運輸業」が2件、「サービス業」「建設業」「その他」が各1件でした。負債総額は「卸売業」が10億22百万円、「建設業」が4億40百万円、「その他」が80百万円でした。

(単位: 件・百万円)

	前年同期 2021年7～9月		前期 2022年4～6月		今期 2022年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	2	124	1	652	0	0
卸売業	0	0	1	50	3	1,022
小売業	0	0	1	20	0	0
サービス業	1	10	1	90	1	10
建設業	3	1,230	3	170	1	440
不動産業	0	0	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	2	20	0	0	2	60
宿泊業、飲食サービス業	0	0	1	22	0	0
その他	0	0	0	0	1	80
合計	8	1,384	8	1,004	8	1,612

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL: 03-5662-9014 (直通)